

ヒアリング調査結果まとめ【高校・大学】

高校	大学
<b>【A 調査票ご記入者についてお聞きします】</b>	
問1 本調査票を記入されている方の職種と発達障害児者の支援に関わった経験年数をお答えください。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理職</li> <li>・ 関わった経験がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育カウンセラー</li> <li>・ 10年以上</li> </ul>
コメント	
特別支援教育コーディネーターが在籍	—
<b>【B 発達障害児者への支援について伺います】</b>	
問2 あなたの学校には、発達障害もしくはその可能性がある生徒・学生が在籍していますか。	
診断を受けた生徒・学生が在籍	診断を受けた生徒・学生が在籍
コメント	
—	発達障害の可能性もある生徒を含めれば、2割はいるのではないかと。
<b>【C 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います（その① 特性の理解）】</b>	
問3 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生について「感じ方(感覚)」や「周りのことへの理解の仕方」「自分の気持ちの表し方」など(以下「障害特性」と記載)にどのような特性があるか、専門職の人(医師、発達障害に関する専門機関の職員等)などが調べた結果を把握していますか。把握している場合、どのように障害特性を把握していますか。	
把握していない	把握している ・ ご本人及び関係者への聞き取り
コメント	
必要に応じてスクールカウンセラーが総合療育センターなどにつないでいる	

高校	大学
<p>問4 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生について心理学的な検査を行い、支援に活用していますか。行っている、もしくは支援に活用している場合、どのような検査を活用していますか。</p>	
<p>活用していない</p>	<p>直接行っていないが、検査結果を活用している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WISC</li> <li>・ 田中ビネー</li> <li>・ SDQ</li> </ul>
<p>コメント</p>	
<p>・ 希望者がいない、積極的な働きかけはしていない</p>	<p>・ 保護者からの聞き取りによる</p> <p>・ 機関によって検査結果にばらつきがあることもある</p>
<p>【D 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います（その② 日常生活について）】</p>	
<p>問5 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生が日常生活を送る上で、特別に配慮が必要な障害特性について、具体的に把握していますか。把握している場合、どのように障害特性を把握していますか。</p>	
<p>把握している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 情報の引継（中学校から）</li> </ul>	<p>把握している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご本人及び関係者への聞き取り</li> </ul>
<p>問6 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生が日常生活を送る上で、特別に配慮が必要な障害特性に対して、何らかの「手立て」を行っていますか。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スケジュール等で予定を示す</li> <li>・ 予定変更時、事前に確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害特性を周りに伝える（本人または保護者の同意を頂いてから情報の共有を行う）</li> </ul>
<p>コメント</p>	
<p>発達障害に関しては、教職員での個別の対応になるが、特別な対応までは必要としないと思われる</p>	<p>保健室でもよいので、自分の居場所をつくるのが重要</p>

高校	大学
副問6-2 日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール(道具や用紙など)を使っていますか。使っている場合、主にどのようなツールを使っていますか。	
使用なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンやタブレット</li> <li>・パソコン</li> </ul>
コメント	
障害に特化していないが、全生徒にタブレット配布済	—
副問6-3 日常生活上の「手立て」を講じるうえで、難しいと感じることがありますか。ある場合、どのようなことに難しさを感じますか。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(その他)高校は、ほぼ全員が授業を比較的落ち着いて受けているので、該当生徒の把握が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(その他)本人や周囲の理解が不足し、支援を受けることに抵抗があると困難</li> </ul>
【D 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その③ 支援体制について)】	
問7 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生が日常生活を送るうえで必要な「手立て」について、医療・福祉・教育・雇用(労働)など関係機関と連携して取り組んだことがありますか。	
<p>取り組んだことがない (今後について、特に予定はない)</p>	<p>取り組んだことがある</p>
問8 専門機関(病院、総合療育センター、発達障害者支援センターつばさ、障害者基幹相談支援センター、子ども総合センター等)から、助言や指導を受けていますか。	
<p>受けていない (今後について、特に予定はない)</p>	<p>受けている</p>

高校	大学
<p>問9 発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生を支援する上で、困ったときに頼れる相談相手はいますか。いる場合、主な相談相手は誰ですか。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害に関する専門機関の職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害に関する専門機関の職員</li> <li>・ご本人の家族</li> </ul>
<p>コメント</p>	
<p>総合療育センター、つばさなど</p>	
<p>問10 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生を支援するための個別の教育支援計画は作成されていますか。</p>	
<p>作成されている</p>	<p>作成されていない</p>
<p>コメント</p>	
<p>中学から引き継がれている</p>	<p>—</p>
<p>副問10-1 作成された計画について、定期的に取り組みの結果を振り返り、その成果や課題を踏まえて内容の見直しをしていますか。また、ご本人やそのご家族は、ご自身の計画の作成やその見直し作業に参加して、意見や要望を直接伝えてありますか。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しあり</li> <li>・参画等あり</li> </ul>	<p>—</p>

高校	大学
<p>問11 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある生徒・学生の支援に専門的な手法を取り入れていますか。取り入れている場合、どのような手法を取り入れていますか。取り入っていない場合は、今後の予定を教えてください。</p>	
<p>わからない</p>	<p>取り入っていない (今後は特に予定はない)</p>
<p><b>【最後に発達障害者支援に関するご意見・ご要望などがあればお願いします】</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉全般に関する研修はあるが、発達障害に特化した職員研修はない。</li> <li>・中高連絡会での情報や保護者からの申し出を、職員全体で共有している。</li> <li>・タブレットの導入は、発達障害のある生徒にも合っていると思われる。</li> <li>・就労については、現在は求人数が多く、希望者は全員就職できているので、障害者しごとサポートセンターなどに相談するまでに至っていない。地域の中小企業とのつながりも深い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場としては経営陣・管理職の発達障害に対する理解・支援がないと難しいと思われる。 (私立大学は文部科学省からの指示がないと動かない)</li> <li>・本人の拠りどころとなるような居場所があること、周囲（友人、家族）や本人が特性を理解し、抵抗なく支援を受けることが大切であり、そのためには現在に至るまでの教育も重要。</li> <li>・就労については、筆記は受かるが面接で落ちる傾向があるので、在学中から早めの対応が必要。</li> </ul>